

いろいろな使いかた

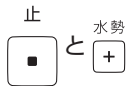
その他設定

便器の水たまり面を下げる
(水の跳ね返り低減や検便のときなど)
水面下げる

便器とウォシュレットの水を
一定の間隔で自動で流す
凍結防止

電子音を
鳴らす/鳴らさない
電子音

1



リモコンランプが
点灯・点滅するまで同時に
押す(約10秒)



2



押す

3



押す

4



押す



便器内の水が流れて
低い水位でたまる

<設定完了>

お知らせ

- 検便時に使用するときは「オート便器洗浄」を「切」にしてください。(P.29)
- 便器洗浄すると、通常の水面の高さに戻ります。水面を下げて使いたい場合に、都度設定してください。

2



押す

3



押す

4

設定したい項目を
選んでボタンを押す

・「する」に設定すると、
約10分間隔で便器洗浄
して凍結を防止します。



<設定完了>

2



押す

3



押す

4

設定したい項目を
選んでボタンを押す



<設定完了>

入室時に便ふたの開くタイミングなどを
変更することができます

人体検知センサーの検知距離

1



リモコンランプが
点灯・点滅するまで押す(約10秒)



2



押す

3



押す

4



押す

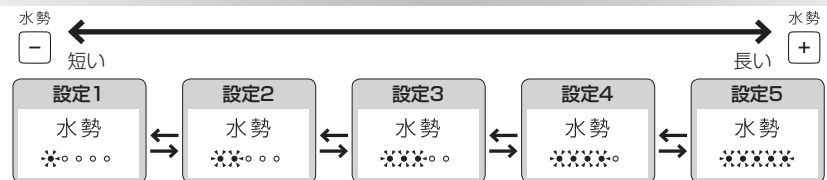
現在の設定が表示されます。

5



で「設定1 / 設定2 / 設定3 / 設定4 / 設定5」を選ぶ

押すたびに切り替わる



(例) 入室時に便ふたが開くタイミング



6



<設定完了>

使いかた

こんなときは

製品内に記憶されている「スマートフォンとの通信設定と計測データ」をすべて削除したいとき

引っ越しや製品を廃棄する場合など、製品内に記憶されている「スマートフォンとの通信設定と計測データ」をすべて削除したいときは「ペアリング初期化」を行ってください。(P.41)

お知らせ

- ペアリング初期化を行うと、登録されている全員の「スマートフォンとの通信設定と計測データ」が削除されます。特定の個人番号情報のみ削除したい場合は、サポートページ (P.16) のヘルプを参照してください。

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

• 便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- 外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- 周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- 作業前に、「オート便器洗浄」(P.29)「オートふた開閉」(P.31)を「切」にしてください。

流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

■設定のしかた (P.36)

- リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- 「運転」ランプが点滅する
- 約10分間隔で便器洗浄(約4.8 L)する
- 約50 mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)

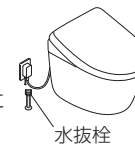


ヒーター付便器・水抜併用方式

1 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

- 止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



2 ノズルきれい 押す

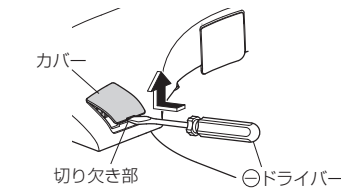
- 給水管の圧抜き

3 電源プラグを抜く

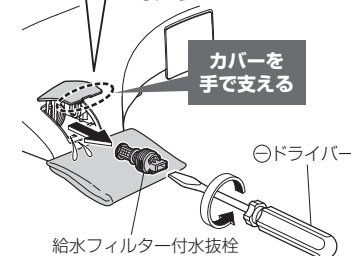
4 配管の水を抜く

①便座・便ふたを開ける

②カバーの切り欠き部に⊖ドライバーを差し込んで開ける



③給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめて、引っ張る

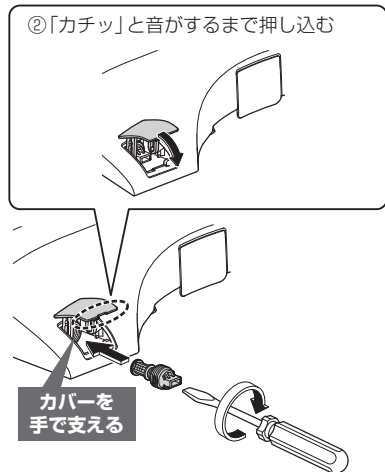


必要なとき

ヒーター付便器・水抜併用方式 (つづき)

5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める

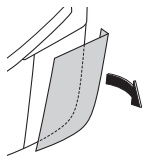
- ①給水フィルター付水抜栓を押し込み、
②ドライバーで確実に締める



6 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

7 すっきりパネル(右)を取りはずす



8 タンクの水を抜く

- ・すっきりパネル裏面のラベル
「タンク内水抜き作業手順」参照

9 便座温度を「高」にする (P.20)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(P.60)

お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(製品内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

お願い ・凍結のおそれがあるときは、凍結予防を行ってください。(P.57)(製品が破損するおそれ)

ご注意 ・「お掃除リフト」(P.45)で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 1 ■流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき
止水栓または元栓を閉める (P.4)
■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、
給水を止める (P.57手順①)

お願い
・止水栓は開けたままにしておいてください。

- 2 を押してタンクの水を抜く ※1

- 3 押す
(給水管の圧抜き)

- 4 電源プラグを抜く

- 5 配管の水を抜く
(P.57、58手順④⑤)

■凍結のおそれがあるときは
・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(P.60)